

令和 8 年 7 月 15 日

長野県知事 様

令和 7 年度 長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和 7 年度		
会 社 名	木下建設株式会社		
住 所	〒395-8680 飯田市松尾町1丁目22番地		
代 表 者 名	代表取締役社長 木下勝貴		
区 分	中間処理 ・ 最終処分		
許 可 番 号	2023070693		
処 理 施 設 所 在 地 (複数ある場合はそれぞれ記入)	施設名	所 在 地	
	木下建設㈱	飯田市下久堅1838-1他	
	下久堅砕石工場	飯田市下久堅1861-1	
担 当 部 署	総務部		
担 当 者 名	向野 浩幸		
連 絡 先	T E L	0265-22-2780	
	F A X	0265-23-8899	
	電子メールアドレス	soumu@kinoken.co.jp	

1 目標達成状況

*当年度目標値は、当年度実践計画書への記載数字を記入する。

*当年度実績値は、計画期間における目標値に対する実績値を記入する。

(1) リサイクル率実績 (中間処理の場合) (%)

廃棄物の種類	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和 7 年度 目標値	令和 7 年度 実績値	令和 6 年度 実績値	令和 5 年度 実績値
がれき類	100	100	100	100

(2) 再生利用実績 (中間処理業者の場合)

(t)

廃棄物の種類	当年度目標値 及び実績値		過年度実績値		用 途
	令和7年度 目標値	令和7年度 実績値	令和6年度 実績値	令和5年度 実績値	
がれき類	12,000	21,454	13,358	14,836	RC 再生材

(3) 最終処分量実績

(t)

廃棄物の種類	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	平成 年度 目標値	平成 年度 実績値	平成 年度 実績値	平成 年度 実績値
該当なし				

2 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理方法、排出ガス、排出水等に関する情報公開実績

- ・再生処理可能廃棄物の種類（具体名）、処理量、最大保管量を処理施設場所に掲示を行った。
- ・粉じん状況の点検記録、騒音測定を行い、公開資料として用意した。

3 産業廃棄物処理施設（中間処理施設等・最終処分場）の地域への公開実績

施設の名称	施設公開状況			
	日 時	対象者	人数	内 容
木下建設(株) 下久堅砕石工場				計画したが地元の希望がなく、実施しなかった。

4 中間処理・最終処分を委託した処理業者（施設）の現地確認実績（中間処理業者）

区 分	廃棄物の種類	現地確認結果（確認回数、確認日、確認状況等）
中間処理場 (有)竹原建材	廃プラスチック、紙くず、木くず	確認回数は1回。確認日は令和7年9月19日。適正に処理が行われていたことを確認した。（確認者：工場長、総務部課長）
(株)マエダ	金属くず	確認回数は1回。確認日は令和7年9月19日。適正に処理が行われていたことを確認した。（確認者：工場長、総務部課長）
最終処分場		

5 従業員教育（研修）実績

実施月日	対象者	実施内容
R7.4～R8.3	工場職員 9名	毎月1回「特別安全の日」において実施した。廃棄物に関する法律、労働災害防止について教育を行った。（講師：工場長）

6 排出事業者への協力要請実績

・排出業者に対して、契約時に書面により分別の依頼をした。

7 リサイクル技術向上に向けた取組み実績

・一般社団法人長野県資源循環保全協会の会員メールを購読し、法令改正、最新技術、他社の技術等を参考にしている。
--

8 不法投棄・不適正処理を発見した場合の協力実績

・不法投棄など発見した場合は、直ちに関係機関に連絡し、情報提供を行うよう指示しているが、不法投棄の発見はありませんでした。

9 その他独自に取り組んだ事項についての実績

代替素材への転換※1、環境認証制度※2の取得、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

- ・ 毎日1回、粉じんの目視検査を行い、結果を記録し、散水等の措置を行った。
- ・ 毎月1回、騒音測定及び散水設備の点検を実施、記録している。
- ・ 毎年11月に飯田市桜並木通りの落ち葉清掃を実施している。
- ・ 毎年5月に天竜川環境ピクニック（天竜川の河川敷のゴミ拾い）に参加している。
- ・ 平成13年にISO14001を取得し、平成21年6月に南信州広域連合の「いいむす21 ISO14001 南信州宣言」に加入し、現在は環境方針に基づき、環境に優しい企業作りに取り組んでいる。
- ・ 令和6年度より電子マニフェスト（公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター）を導入している。

※1 化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと

※2 環境 ISO 14001、エコアクション 21 等